



©2005 石塚真一小学館

第 289 号(令和5年(2023 年)1月 13 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

データで見る冬山登山に潜むリスク

<https://yamahack.com/5563> (YAMAHACK 掲載)

- ・冬山シーズンの遭難者は 20 代~40 代が約 3 分の 2 を占める！？
- ・入山目的別で異なる態様(遭難原因)
- ・雪山登山では「道迷い」が多発
- ...
- ・同じ山でも難易度が上がる冬……一段階レベルを下げた登山計画を

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>
を確認し万全の準備で入山を！

発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
12 月 26 日	八ヶ岳連峰 阿弥陀岳	男	21	負傷	転落	3 人パーティで南沢大滝にてアイスクライミング中、バランスを崩し転落、負傷
26 日、3 人パーティで八ヶ岳連峰に入山し、南沢大滝でアイスクライミングしていた男性(21 歳)がバランスを崩して転落する山岳遭難が発生し、茅野警察署山岳遭難救助隊員、諏訪地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が出動して救助しました。						
12 月 29 日	北アルプス 白馬乗鞍岳 鶴峰	男	31	無事救出	道迷い	2 人パーティで鶴峰東側斜面にてバックカントリーをスノーボードで滑走中、ルートを誤り行動不能
		男	34	無事救出	道迷い	
29 日、2 人パーティで、北安曇郡小谷村の鶴峰東側斜面でバックカントリーをスノーボードで滑走中の男性 2 名(31 歳、34 歳)が、ルートを誤り、行動不能となる山岳遭難が発生し、県警山岳遭難救助隊員、大町警察署山岳遭難救助隊員及び北アルプス北部地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が出動して発見・救助しました。						
12 月 30 日	八ヶ岳連峰 横岳	男	34	負傷	転落	2 人パーティで大同心付近にてアイスクライミング中、転落、負傷
30 日、2 人パーティで八ヶ岳連峰横岳に入山した男性(34 歳)が、大同心付近においてアイスクライミング中に転落し負傷する山岳遭難が発生し、岐阜県警ヘリが出動して救助しました。						

令和4年(2022年)中の山岳遭難発生状況(令和4年(2022年)1月1日～12月31日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和4年(2022年)	284	37	4	140	129	310	181
内)単独登山	100	17	3	38	42	100	58
内)山菜きのこ採り	21	5	2	4	10	21	11
令和3年(2021年)	257	47	2	115	112	276	164
前年同期比	+27	-10	+2	+25	+17	+34	+17
内)単独登山	-8	-9	+1	+3	-3	-8	-5
内)山菜きのこ採り	-1	-4	+2	-4	+5	-1	-6

■山域別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～12月31日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	47	16.5%	8	0	27	15	50
	後立山	49	17.3%	7	0	20	29	56
	その他	31	10.9%	3	2	14	13	32
	計	127	44.7%	18	2	61	57	138
中央アルプス	17	6.0%	3	0	8	7	18	
南アルプス	8	2.8%	0	0	5	3	8	
八ヶ岳連峰	52	18.3%	4	0	30	26	60	
その他の山岳	80	28.2%	12	2	36	36	86	
計	284		37	4	140	129	310	

■態様別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～12月31日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	77	27.1%	24	0	55	0	79
転倒	68	23.9%	0	0	68	0	68
病気	24	8.5%	8	0	0	16	24
道迷い	43	15.1%	0	0	1	55	56
落石	5	1.8%	0	0	6	0	6
雪崩	4	1.4%	2	0	2	0	4
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	30	10.6%	1	0	0	33	34
不明・他	33	11.6%	2	4	8	25	39
計	284		37	4	140	129	310

■男女別・年齢別比率(令和4年(2022年)1月1日～12月31日)

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	3	5	8	43 20.5%	0	0	0	2	2	17 17.0%	10	60 19.4%
20代	1	0	4	16	21		0	1	5	3	9		30	
30代	0	0	5	9	14		1	0	4	1	6		20	
40代	4	0	24	8	36	66 31.4%	0	0	10	5	15	43 43.0%	51	109 35.2%
50代	4	0	15	11	30		2	0	13	13	28		58	
60代	11	0	16	24	51	101 48.1%	2	0	12	5	19	40 40.0%	70	141 45.5%
70以上	10	2	19	19	50		2	1	10	8	21		71	
計	30	2	86	92	210		7	2	54	37	100		310	
比率	67.7%						32.3%							

年末年始の山岳遭難発生状況（令和5年1月5日県警山岳安全対策課発表）

年末年始の山岳遭難の発生は、7件11人(前年比+5件 +9人)

1 年末年始の山岳遭難発生状況(12月29日～1月3日)

区 分		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	前年度比
発生件数		4	2	1	2	7	+5
遭 難 者 (人)	死 者	0	0	0	0	0	±0
	行方不明	0	0	0	0	1	+1
	負 傷 者	2	1	1	1	3	+2
	無事救出	7	1	0	1	7	+6
	計	9	2	1	2	11	+9

(1) 遭難の概要

ア ハヶ岳連峰における遭難が多発(4件)

- 12/30 アイスクライミング中に転落、負傷(埼玉県在住 34歳 男性)
警察、遭対協が出動し、岐阜県警へリで救助
- 1/1 上級者コース登山中に疲労等により行動不能(山口県在住 60歳代の男女4人)
警察、消防、遭対協が出動し、救助
- 1/1 赤岳から下山中に転倒、負傷(埼玉県在住 39歳 男性)
警察、遭対協が出動し、救助
- 1/2 赤岳から下山中に滑落、行方不明(愛知県在住 48歳 男性)
警察、遭対協が出動し、捜索実施

イ 大北地域(小谷村)におけるバックカントリー遭難の発生(2件)

- 12/29 柵池高原スキー場東側を滑走中、道に迷い行動不能(愛知県在住 30歳代 男性2人)
- 1/2 白馬コルチナススキー場北側を滑走中、道に迷い行動不能(山梨県在住 34歳 男性)
いずれも警察、遭対協が出動し、救助

(2) 遭難の特徴

期間中、冬型の気圧配置が続いたことから、ハヶ岳連峰一帯は比較的晴天に恵まれたため、多くの登山者が入山したが、稜線付近は強風や濃霧に見舞われ、遭難も多発した。

大北地域は、年末から断続的にまとまった降雪に見舞われたことから、新雪を求めて多くのスキーヤー、スノーボーダーがバックカントリーエリアを訪れたが、事前の下調べ不足等により道迷い遭難が発生した。

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

令和5年1月1日から9日まで県内では、8件の遭難が発生し、八ヶ岳連峰、北アルプスでの遭難が多発しました。

主な態様では、アイスクライミング中の転落、長時間の行動による疲労、下山中の滑落、バックカントリーによる道迷いなどです。うち1件は行方不明になっています。

バックカントリーエリアは、管理されたスキー場内と違い自然の山中を滑走するため、その魅力とリスクは表裏一体であることを忘れてはいけません。

滑走に夢中になるあまり、登り返しの分岐点を見過ごしたり、コースとなる尾根や沢を間違えて道迷いになるケースが多く見受けられます。

特に入ったことのないエリアでは、SNS やインターネット情報のみを参考にすると、ルートを誤ったり、方向や現在地を見失うなど、リスクを伴います。入山前には、仲間全員でコース全体の地形や方角等を把握し、行動中はこまめに現在地を確認するようにしましょう。


山中では天候や気温、標高によって大きく状況が変化します。単純な滑走能力だけではなく、安全に行動するための総合的な判断力と経験が必要になります。バックカントリースキー・スノーボードに行かれる方は、雪崩対策装備を必ず携行し、慎重な行動を心掛けてください。

登山についても、気象判断は非常に重要です。悪天候の際は、救助活動も長期化する場合があります。万が一に備えて、ツェルト、防寒着、着替え、ストーブ、非常食等のビバーク装備を携行しましょう。

また、事前に天気予報等を確認し、登山を中止することも検討しましょう。

発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
1月1日	八ヶ岳連峰 赤岳	男	39	負傷	転倒	単独で山頂から下山中、アイゼンを岩に引っ掛け、転倒、負傷
1日、単独で八ヶ岳連峰赤岳に入山した男性(39歳)が、下山中にアイゼンを岩に引っ掛け転倒して負傷する山岳遭難が発生し、茅野警察署山岳遭難救助隊員、諏訪広域消防特別救助隊員及び諏訪地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が出動して救助しました。						
1月1日	八ヶ岳連峰 横岳	男	67	無事救出	疲労	4人パーティで石尊稜を登山中、疲労により行動不能
		男	66	無事救出	疲労	
		男	62	無事救出	疲労	
		女	67	無事救出	疲労	
1日、4人パーティで八ヶ岳連峰石尊稜に入山した男性(67歳、66歳、62歳)と女性(67歳)が、日没と疲労のため行動不能となる山岳遭難が発生し、茅野警察署山岳遭難救助隊員、諏訪地区山岳遭難防止対策協会救助隊員らが出動して救助しました。						
1月2日	八ヶ岳連峰 赤岳	男	48	死亡	滑落	単独で山頂から下山中、滑落
2日、単独で八ヶ岳連峰赤岳に入山した男性(48歳)が、下山中に岩場で滑落する山岳遭難が発生し、茅野警察署山岳遭難救助隊員及び諏訪地区山岳遭難防止対策協会救助隊が出動し、富山県警ヘリが斜面に倒れている男性を発見・救助しましたが、死亡が確認されました。						

1月2日	北安曇郡小谷村虫尾沢	男	34	無事救出	道迷い	単独で虫尾沢をバックカントリーで滑走中、道に迷い、行動不能
2日、単独で、北安曇郡小谷村の虫尾沢でバックカントリーをスキーで滑走中の男性(34歳)が、ルートを誤り、行動不能となる山岳遭難が発生し、大町警察署山岳遭難救助隊及び北アルプス北部地区山岳遭難防止対策協会救助隊が出動して救助しました。						
1月3日	佐久市根岸虚空蔵山	女	78	負傷	転倒	2人パーティで登山中、山頂付近で転倒、負傷
3日、2人で佐久市の虚空蔵山に入山した女性(78歳)が、頂上付近で足を滑らせて転倒し、負傷する山岳遭難が発生し、佐久広域消防署員が出動して救助しました。						
1月7日	北アルプス西穂高岳	男	54	負傷	滑落	2人パーティで山頂から新穂高ロープウェイに向けて下山中、雪庇を踏み抜き滑落、負傷
2人パーティで北アルプス西穂高岳に6日入山した男性(54歳)が、7日、下山中に雪庇を踏み抜き滑落する山岳遭難が発生し、松本警察署山岳遭難救助隊員等が救助活動を行い、富山県警ヘリが出動して男性を救助しました。						
1月8日	安曇野市豊科光城山	男	83	負傷	滑落	単独で光城山から下山中、滑落、負傷
8日、安曇野市の光城山に単独で入山した男性(83歳)が、下山中に滑落して負傷する山岳遭難が発生し、松本広域消防局員が出動して救助しました。						
1月8日	北アルプス八方尾根周辺	男	31	行方不明	不明	2人パーティでバックカントリーに行ったまま、行方不明
		男	34	行方不明	不明	
8日、白馬村内の八方尾根スキー場にバックカントリースノーボードに出掛けた男性2名(31歳、34歳)が、帰宅せず行方不明となっている山岳遭難が発生し、大町警察署山岳遭難救助隊が捜索活動を行っています。						

令和5年(2023年)中の山岳遭難発生状況(令和5年(2023年)1月1日～1月9日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和5年(2023年)	8	1	2	4	5	12	7
内)単独登山	4	1	0	2	1	4	3
令和4年(2022年)	5	0	0	3	2	5	3
前年同期比	+3	+1	+2	+1	+3	+7	+4
内)単独登山	+3	+1	±0	+2	±0	+3	+3

■山域別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～1月9日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	1	12.5%	0	0	1	0	1
	後立山	1	12.5%	0	2	0	0	2
	その他	0	0.0%	0	0	0	0	0
	計	2	25.0%	0	2	1	0	3
中央アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0	
南アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0	
八ヶ岳連峰	3	37.5%	1	0	1	4	6	
その他の山岳	3	37.5%	0	0	2	1	3	
計	8		1	2	4	5	12	

■態様別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～1月9日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者 計
転・滑落	3	37.5%	1	0	2	0	3
転倒	2	25.0%	0	0	2	0	2
病気	0	0.0%	0	0	0	0	0
道迷い	1	12.5%	0	0	0	1	1
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	0	0.0%	0	0	0	0	0
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	1	12.5%	0	2	0	4	4
不明・他	1	12.5%	0	2	0	0	2
計	8		1	2	4	5	12

■男女別・年齢別比率(令和5年(2023年)1月1日～1月9日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計		
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率	
19歳以下	0	0	0	0	0	4 40.0%	0	0	0	0	0	0 0.0%	0	4 33.3%	
20代	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0		0
30代	0	2	1	1	4		0	0	0	0	0		0		4
40代	1	0	0	0	1	2 20.0%	0	0	0	0	0	0 0.0%	1	2 16.7%	
50代	0	0	1	0	1		0	0	0	0	0		0		1
60代	0	0	0	3	3	4 40.0%	0	0	0	1	1	2 100.0%	4	6 50.0%	
70以上	0	0	1	0	1		0	0	1	0	1		1		2
計	1	2	3	4	10		0	0	1	1	2		12		
比率	83.3%						16.7%								

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp
までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝